

建荷協長野県支部通信

第3巻 第1号

発行日 平成27年6月1日

1 第33回総会開催される

5月21日、公益法人となってから第4回目の長野県支部定時総会がホテル国際21で開催されました。総会は委任状を含め会員152社の出席をもって成立し、遠藤支部長のあいさつに引き続き、第1号議案「平成26年度事業報告並びに収支決算報告」、第2号議案「平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)」について審議し、いずれも原案のとおり可決されました。

総会では、建設荷役車両安全の普及促進に尽力し当協会の事業推進に寄与された次の方々が本部会長及び当支部長から表彰されました。(敬称略)

功績賞 倉科晴吉(キャタピラーイーストジャパン(株)関東支社)

技能賞 高橋 功(パークス甲信越(株))

技能賞 三ツ石徹(飯田チーゼル(株))

技能賞 山崎和明((株)中野車輛)

技能賞 板山賢次(飯田自動車(株))

精励賞 三ツ井まゆみ(長野県支部)

考案賞銀賞 望月隼人(コマツリフト中部カンパニー)

考案賞銀賞 北林誠(飯田チーゼル(株))

努力賞 越山清(日立建機日本(株)松本営業所)

他に入賞には至らなかったものの、3名(4件)に対して参加賞が授与されました。

また、長野県支部創設以来研修の講師として支部発展に貢献された村松湧二様に遠藤支部長より感謝状が贈呈されました。

総会にはご来賓として、長野労働局健康安全課の古田課長、県下監督署を代表して滝口長野労働基準監督署長のご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。また、建荷協本部会長の吉識様からもメッセージをいただき代読しました。

総会は成功裡に終了し、新年度の事業がスタートしました。

2 平成27年度第1回研修委員会開催される

5月27日、平成27年度の第1回研修委員会が、ホテル国際21で開催されました。

本年度の研修予定は既に配布してありますし、ホームページにも掲載してありますのでご参照ください。

当委員会で担当講師の分担等を決定し、巡回指導担当区域の配分も決定いたしました。これにより、各種研修が行われ、巡回指導にも同行いたします。

また、フォークリフト月次点検にかかる新規研修については、検討を行ったものの結論が出ず、保留となりました。

「危険の見える化(リスクアセスメント)」については、8月4日のセミナーに向けて当支部モデルの改定・更新作業を進めていることが報告されました。

各研修の情報は随時(2か月前)にお知らせいたしますが、当支部ホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。



第33回総会で挨拶される遠藤支部長

目次：

第33回総会開催される	1
平成27年度第1回研修委員会開催される	2
「危険の見える化」の取り組みー本部と意見交換	3
全国安全週間とSTOP！転倒災害防止プロジェクト	4
事務局だより	5

ハイライト：

- 全国安全週間：7月1日～7日
準備月間：6月1日～30日
- 実務研修「記録表作成コース」(7月22日、ポリテクセンター松本)の申込を受け付けています。
- 実務研修「検査業者業務点検コース」(7月16日、長野地域職業訓練センター)の受講申込みを受け付けています。
- 「危険の見える化(リスクアセスメント)セミナー」(8月4日、ポリテクセンター松本)の受講申込みを受け付けています。
- 全国安全週間実施要綱、研修情報は当支部ホームページをご参照ください。



本部調査部長、安全コンサルタントとの意見交換の様様



(株) 前田製作所大町営業所での事例作成の様様

「われわれを取り巻く環境にどんな危険があり、それがどれだけ危険かを見る力が必要だ」

Q&Aコーナー

Q:「建機付属クレーン部分の定期自主検査者安全教育」を受けたら、ユニック等の移動式クレーンの定期自主検査もできるのでしょうか？

A:「建機付属クレーン部分の定期自主検査者安全教育」は油圧ショベルの定期（特定）自主検査と併せてクレーン部分の検査もできるようにしたものであり、講習時間も3.5時間と短くなっております。

一方、「移動式クレーンの定期自主検査者に対する安全教育」の講習時間は7.0時間となっており、こちらは移動式クレーン一般の検査ができます。

後者の安全教育を受けていれば油圧ショベルのクレーン部分を検査できますが、前者の安全教育を受けたからといってユニックなどの移動式クレーン一般を検査できるものではありません。誤解のないように。

3 「危険の見える化」の取り組み—本部と意見交換

4月16日、建荷協本部から佐々木調査部長、桜井労働安全コンサルタントを迎え、当支部リスクアセスメント検討小委員会委員会和「危険の見える化(リスクアセスメント)」の進め方について意見交換を行いました。

当支部の5S—KY—RS三ステップの相互の関連性と位置付けの仕方、リスクアセスメントの進め方について説明しました。

本部からもリスクアセスメント(RS)の進め方として、危険に近づく頻度、危険になる可能性、結果の重得度の三要素法は理解が難しいという意見が多くある、当支部のよ

うな二次元のマトリクス法はわかり易い、という意見がありました。

5S演習に使用する事例、リスクアセスメントに使用する事例は当支部独自に想定、作成しているもので、本部の皆様にも大変参考になったようです。

翌4月17日には、本部の皆様と事務局長がトヨタL&F長野の工場・現場を視察させていただき、大変勉強になりました。厚く御礼申し上げます。

また、5月30日には前田製作所大町営業所で実機を用いてリスク事例の作成を行いました。ありがとうございました。

4 全国安全週間とSTOP!転倒災害防止プロジェクト

第88回全国安全週間が、7月1日から7日までの1週間実施されます。この本週間の実効を上げるため、6月1日から30日を準備月間とします。職場の安全活動の節目として年間計画の中で位置づけ、できるだけ効果の上がるように取り組みましょう。

長野県での休業4日以上死傷災害は5年連続で増加しており、そのうち「転倒災害」が27%を占め、最も多くなっております。

高齢の方が転倒すると重症化する割合が高く、日常生活での不慮の事故による死因の中でも転倒・転落は交通事故を超えております。長野労働局でも6月度を「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」の「重点取組期間」としています。みなさまのところでぜひ取り組んでみてください。

平成27年度の安全週間のスローガンは「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」です。われわれを取り巻く環境にどんな危険があるのか、どれだけ危険かを見る力を養いましょう。

5 事務局だより

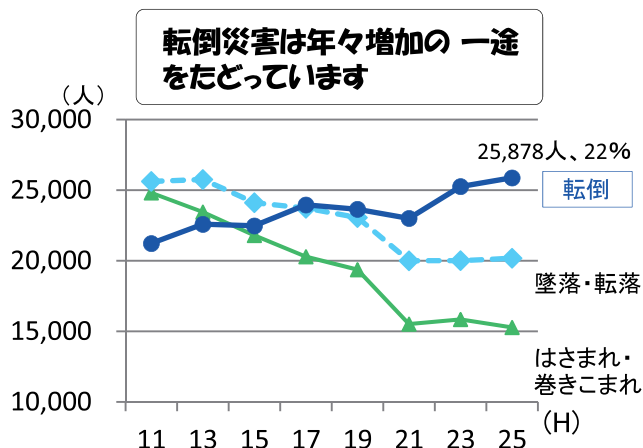
先月は少し気になる事故が相次いだ。まず、JR山手線の支柱の倒壊事故だ。人命にかかわらなかったとはいえ、重大事故につながりかねない「重大インシデント」と運輸安全委員会が認定した。JR東日本と工事会社の社員は、柱が傾いているのを発見したが、目視だけですぐには倒れないと判断。運行管理の指令部門、電気系統担当への連絡をせず、作業員確保が困難との理由で補修を3日後に先送りした。列車運行の利便性を優先し、安全性を後回しにした姿勢がみてとれる。重大事故の一手前だった。

次に、長野に本社のあるキノコ工場の火災で4人が死亡した。冷却装置入れ替えのため、天井部の配管をガスバーナーで切断しているとき、飛んだ火花が壁の発泡ウレタンに引火、燃焼。発生したシアン化合物による中毒死であった。工事を発注する側、工事の現場管理者は断熱材の燃焼危険性について何の検討も行わなかったのだろうか。

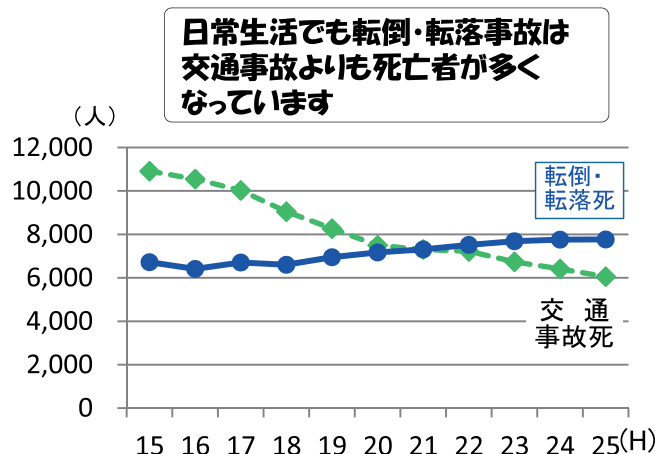
いずれの場合も「真面目に」任務を遂行していたのだろうが、現場での危険に対する鈍感さ、危険意識の欠如、組織の安全意識の緩みが気になるところである。

職場での転倒事故を減らしましょう！

仕事中に転倒して4日以上仕事を休む方は、年間26,000人ほどで、労働災害の種類では最も多くなっています。特に高齢者が転倒した場合は重症化する割合が高く、日常生活での不慮の事故による死因の中でも、転倒・転落死は交通事故死を超えています。



出典：厚生労働省 労働者死傷病報告「事故の型別死傷者数の推移」



出典：厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡者数の推移」

あなたの職場では、このような災害が起こっていませんか？

業 種	災害の発生状況
金属製品製造業	 工場内で発生した機械のトラブル処理のため駆け出したところ、作業通路に散らばっていたネジを踏んで足を滑らせ転倒した。
ケガの程度	
休業10日間	
対策のポイント	
☐ 足元に落ちた材料などは、速やかに片付けることを徹底する ☐ 他の労働者が通ることを踏まえ、作業通路に物を放置しない ☐ 足元の障害物に気づけるよう、余裕をもった行動を心がける	

業 種	災害の発生状況
飲食店	 空の容器を抱えた状態で従業員通路の階段を降りていた時に、足元が見えず階段を踏み外してバランスを崩し転倒した。
ケガの程度	
休業2カ月	
対策のポイント	
☐ 運ぶ容器を小分けにするなど足元が見えるようにする ☐ 大きな荷物を運ぶときは台車を使用する ☐ 危険箇所には表示して注意を促す ☐ 階段の昇降はゆっくりを心がける	

業 種	災害の発生状況
食料品製造業	 厨房で揚げ物をバックに詰めるため、容器を取ろうと前方にかがんだところ、床に飛び散った油で滑ってバランスを崩し転倒した。
ケガの程度	
休業10日間	
対策のポイント	
☐ 作業の都度、床の油などは放置せず取り除く ☐ 滑りにくい靴底の履物を着用する	

業 種	災害の発生状況
小売業	 バックヤードで商品の検品中に、レジのヘルプ連絡を受けて店内に向かう途中、台車に足を引っかけてバランスを崩し捻挫した。
ケガの程度	
休業1カ月半	
対策のポイント	☐ 通路に物を置かない、整理・整頓をする ☐ 作業通路を定め、定期的に職場を巡視する ☐ 危険箇所には表示して注意を促す

転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。あなたの職場にも、似たような危険はありませんか？

滑り



〔主な原因〕

- 床が滑りやすい素材である。
- 床に水や油が飛散している
- ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている

つまずき



〔主な原因〕

- 床の凹凸や段差
- 床に放置された荷物や商品など

踏み外し



〔主な原因〕

- 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業

転倒災害防止対策のポイント

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

設備管理面の対策

〔4S(整理・整頓・清掃・清潔)〕

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法

〔あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて〕

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない



その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起



【コラム】正しい靴の選び方

靴は、自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしにくく、バランスを崩したときに足の踏ん張りがきかなくなります。逆に大きすぎる靴では、歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが、足の動きに追従できなくなります。

以下のポイントにも注意して、作業に合った靴を選びましょう。

靴の屈曲性

靴の屈曲性が悪いと、足に負担がかかるだけでなく、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



靴の重量

靴が重くなると、足が上がりにくくなるため、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。靴が重く感じられる重量には個人差がありますが、短靴では900g/足以下のものをお勧めします。

靴の重量バランス

靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく(トゥダウン)、無意識のうちに擦り足になりやすく、つまずきを生じやすくなります。



つま先部の高さ

つま先部の高さ(トゥスプリング)が低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。高年齢労働者ほど擦り足で歩行する傾向があるため、よりつまずきやすくなります。



靴底と床の耐滑性のバランス

滑りやすい床には滑りにくい靴底が有効ですが、滑りにくい床に滑りにくい靴底では、摩擦が強くなりすぎて歩行時につまずき場合があります。靴底の耐滑性は、職場の床の滑りやすさの程度に応じたものとする必要があるので、靴はできるだけ履いてみてから選定することをお勧めします。

STOP！転倒災害プロジェクト2015

～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。「転倒」という身近なテーマから職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境の実現に向けて、「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を実施しています。

【主唱者】

厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会

【プロジェクト実施期間】

平成27年1月20日から12月31日まで

プロジェクトの効果を上げるため、積雪や凍結による転倒災害の多い2月と全国安全週間の準備月間である6月を重点取組期間とします。

「STOP！転倒災害特設サイト」をご活用下さい！

転倒災害の現状からその対策まで、事業場での取り組みに役立つ情報を集約してご提供します。

＜厚生労働省 ホームページ＞

「STOP！転倒災害プロジェクト2015」で検索

STOP！転倒

検索

1 転倒災害防止に向けたさまざまな対策の紹介

転倒災害の防止に効果のあった事業場の取組好事例、転倒災害防止に役立つ保護具や用具などを紹介しています。



（資料出所：中央労働災害防止協会）

2 転倒予防の知識養成セミナーの紹介

転倒を防ぐための実習を交えて基礎知識を身につけるセミナー、転倒災害防止の基本となる「4 S活動」や「KY活動」をテーマとした研修を実施します。

職場の安全、安全週間に関する情報はこちらでも発信しています！
中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		☒
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	☐
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、 その都度取り除いていますか	☐
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度） が確保されていますか	☐
4	時間に追われて、あわてて作業を行って いませんか	☐
5	荷物を持ちすぎて足元が見えないことは ありませんか	☐
6	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、 携帯電話を使いながら歩いていませんか	☐
7	作業靴は、作業に合ったちょうど良いサイズの ものを選んでいますか	☐
8	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい 場所の危険マップを作成し、周知していますか	☐
9	段差のある箇所や滑りやすい場所などに 注意を促す標識をつけていますか	☐
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を 取り入れていますか	☐

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと
作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！